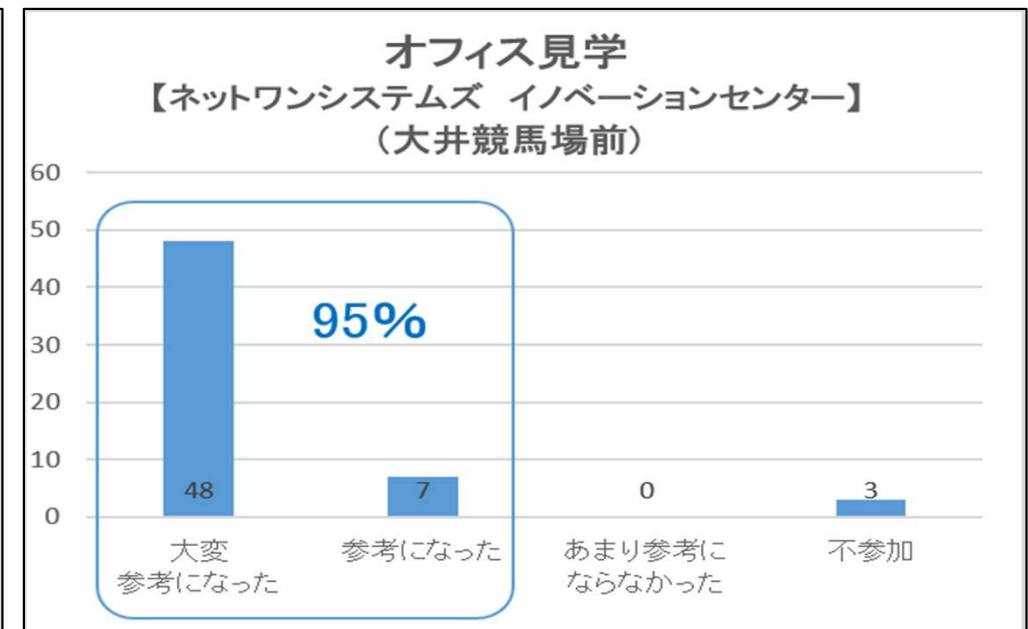
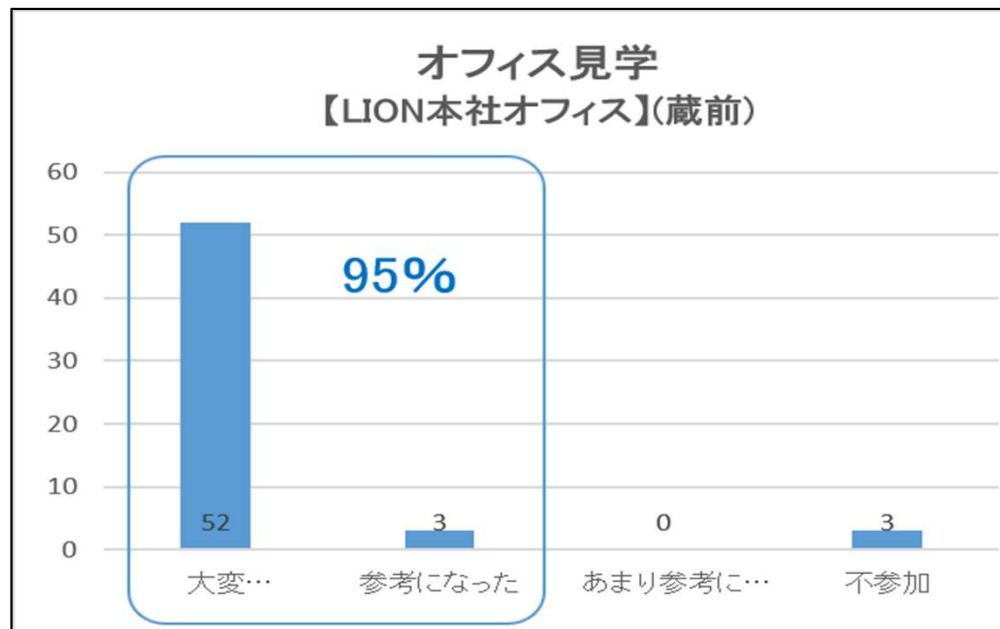
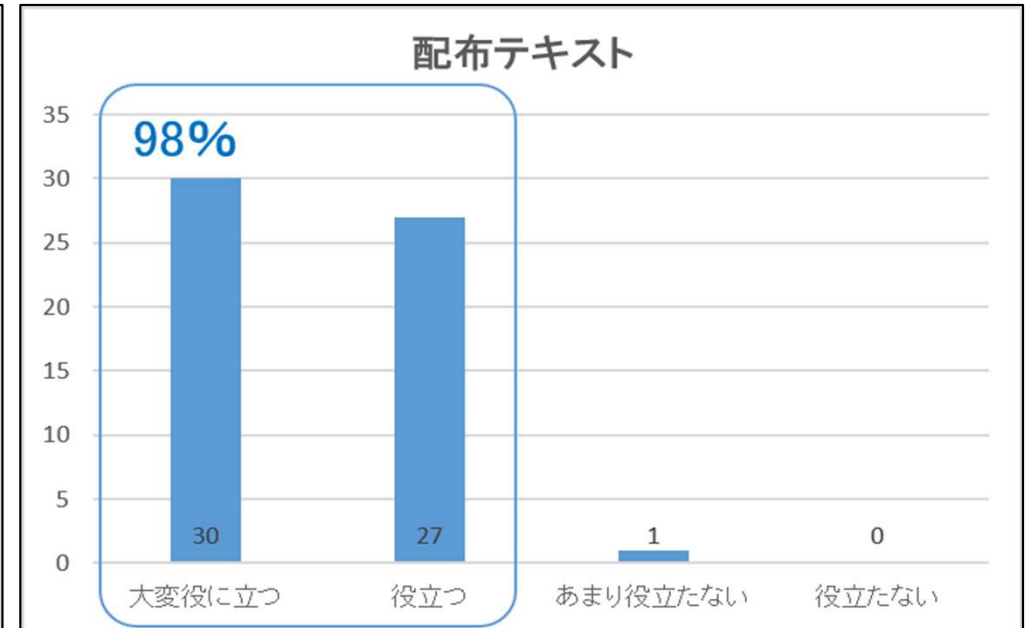
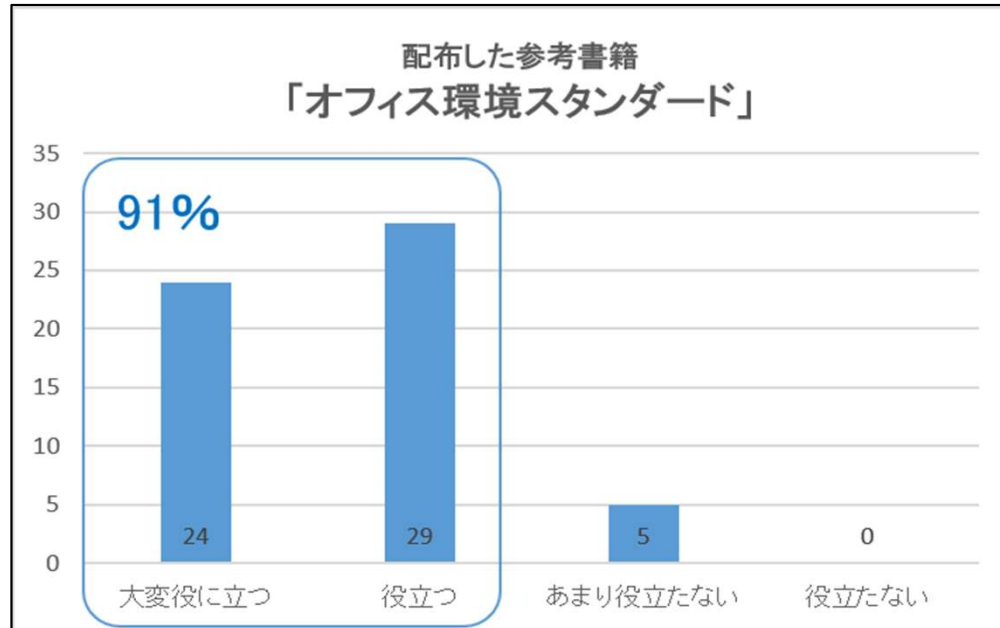
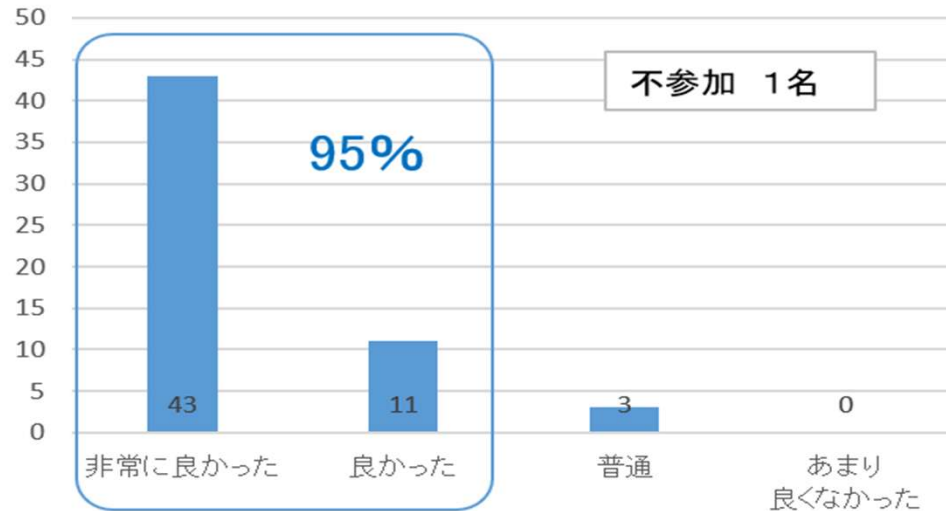


- ・書籍は90%以上、テキストについては98%以上、今後役立つと感じています。
 - ・見学会は2社とも95%以上参考になったと感じています。
- ※詳細コメントは以前お送りした受講生の各アンケートを参照ください。

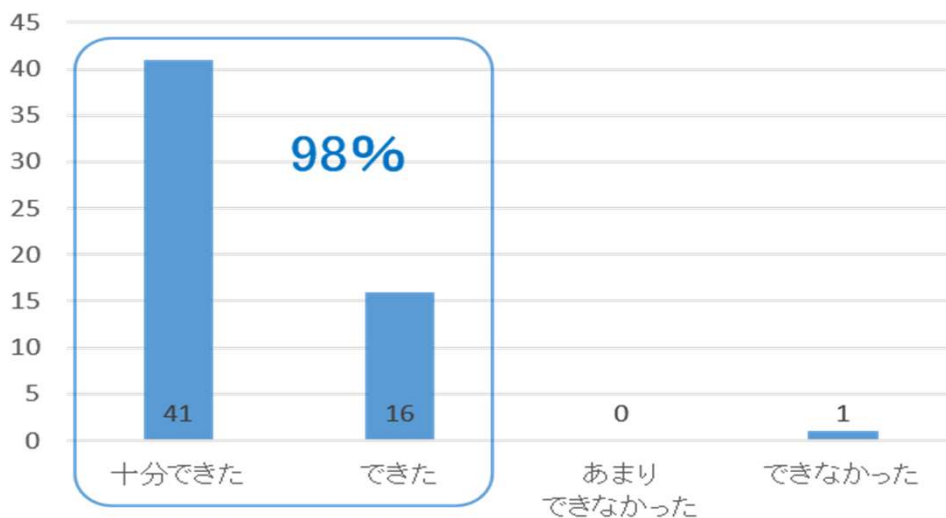


- ・受講生の約95%が良かったと感じています。
 - ・交流についてもチームは98%以上交流できたと感じています。
- ※詳細コメントは以前お送りした受講生の各アンケートを参照ください。

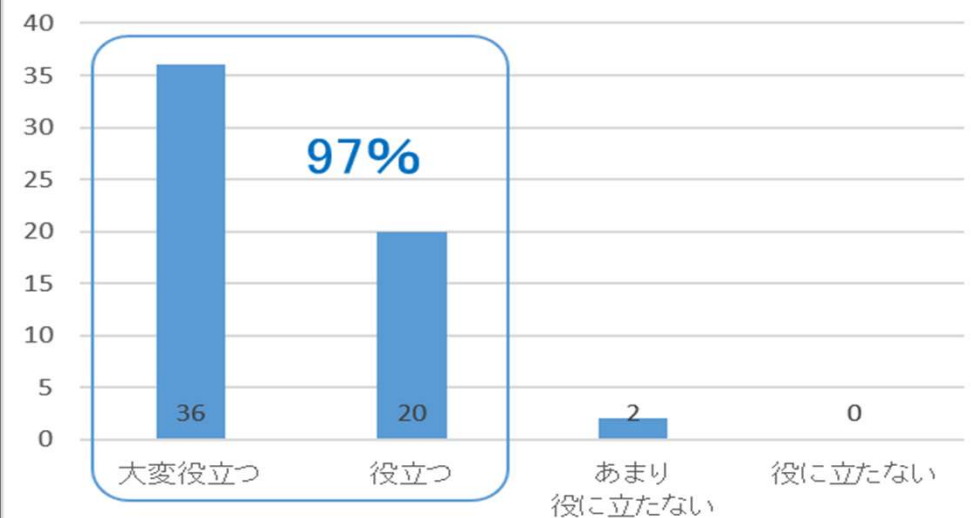
最終日チームディスカッション



チームの方との交流



他社の方との交流



2025年度 共通・講座アンケート【全体を通して】

受講生の約90%以上が各講座について有効であったと回答しています。

今回新しく設定した課題も、受講生には好評で楽しく取り組んでいただいた様です。

※詳細コメントは以前お送りした受講生の各アンケートを参照ください。

■代表コメント

・座学としてオフィス基礎知識を学ぶ講座を受講したが、実際分厚い教科書と向き合うより、第一線でご活躍された講師の皆様からの言葉で教えていただき、生で案件に対して検討できたし、頭に入ってきた。これからの働き方やオフィスに求められる役割について、実例を交えながら学ぶことができ、次の日のオフィス見学に対していろんな視点で見学することができた。これまで「空間」として捉えていたオフィスを、人と人のつながりや、組織を作り出し引き出す場として改めて考えるきっかけになり、単に意匠的にデザインするだけでなくもっと人にフォーカスして検討していくことを学んだ。特にゾーニングや運用まで含めて考える視点は、今後の案件企画や提案において非常に参考になり、今回得た学びを実務にしっかりと落とし込みより価値のある空間づくりにつなげていきたい。

・今回のオフィス基礎講座では、オフィスの歴史から社会背景、ビジネス環境、そして設備や法律といった実務で生きる部分まで一通貫で学べ、全体総復習でき、とても良かったです。特に、普段の案件だとどうしても流れて処理してしまいがちな法規や設備の考え方を、全体構造から整理し直せたのはPMとしてすごく大きかったです。「なぜこの基準があるのか」「何を押さえれば判断がぶれないのか」という軸が改めて整理できた感覚があります。また、オフィスを「空間」ではなく「企業活動の一部」としてどう捉えるかという話も印象的で、提案の裏に置くべき視点を再確認できました。スケールや動線を実際に体験するワークも、日々の感覚的な判断を見直す良いきっかけになりました。全体として、基礎から実務まで、今後の提案の精度を上げるための土台をしっかりと整えられた講座だったと思います。

・今回のオフィス基礎講座を通じて、オフィスの歴史や役割、最新のワークプレイス戦略まで幅広く体系的に学ぶことができました。特に、講師の方々の実体験や事例を交えた説明が非常に分かりやすく、日々の業務に直結するヒントが多く得られました。オフィスの変遷や価値観の変化が空間に反映されること、関係性によって距離感が変わることなど、今まで意識していなかった視点を得ることができました。営業としてもデザイナーと協力し、視座を高く持つことの重要性を改めて認識しました。さらに、レイアウトや文書管理、コンセプト設計など、普段意識していなかった部分も理解が深まりました。他の受講者との意見交換を通じて自分の考え方や視野も広がり、今後は今回学んだ知識や気づきを活かし、より良いオフィスづくりや提案活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

・4日間という研修というのも、他社さんを交えての研修というのも初めてだったが、飽きることなく研修を受けることができたのは、研修内容に工夫があったからだと思います。座学のみならず、オフィス見学や課題ワークショップなど、インプットとアウトプット双方があったことが、非常にありがたかったです。座学の講座では、新入社員の研修時に習得した内容も多かったですが、経験を少し積んだ今だからこそ、オフィスの変遷等を改めて振り返ることで、オフィスの在り方や働き方について改めて考えさせられました。また、法規については、自分が忘れていたことも振り返ることができ、振り返るべき箇所の気づきにもつながりました。オフィス見学会では、一日に2社を訪問することで、それぞれに共通する箇所や、それぞれの異なる良さを見つけることができたので、今後もオフィス見学は2社以上だと良いかと思いました。改めて、運営してくださったNOPAの皆様、講座に登壇してくださった講師の皆様、ありがとうございました。

・講義を通じて、オフィスのレイアウトや機能は単なる空間設計だけではなく、時代ごとの社会背景や技術、企業文化の変化の積み重ねによって形成されたものであると理解できた。オフィスの歴史や構成、価値、ブランディングを基礎から体系的に学ぶことで、日々のオフィス提案の業務の意味づけがより明確になったと感じている。またオフィス、人とオフィス環境の関係や、光・音・動線といった要素が人の行動や心理に与える影響について学び、快適性や細やかな配慮の積み重ねによって実現するものだとも認識した。実際のプロジェクト事例のお話では、オフィス提案が企業が組織の価値、想いを空間に落とし込み、社会や地域との関係性まで見据えて提案している点が印象に残った。今後はこの研修で得た知識を活かし、経験を重ねながら成長していきたいです。

・オフィスに特化した講座で専門家から基礎を体系的に学べたことは非常に有意義だと感じています。中野先生の法規講義では、新入社員研修で学んだ内容を実務の中で曖昧になっていた部分を整理でき、理解が深まりました。一色先生の講義では、オフィスの歴史や日経ニューオフィス賞の事例を通じて挑戦と変化の背景を知り、オフィスがこれまでどのように変わっていったのかを捉えることが、これからのオフィスを考える上で大切だと再確認できたと思います。特に印象的だったのは内田洋行の五十嶋先生の講義です。同じ社内でも事例の背景を知ることで、デザインに込める意味や価値を再認識しました。人の背景を読み取り、どんな付加価値を提供できるかを考えることが、良い仕事につながると感じ、大きな刺激を受けました。今回の学びを今後の実践に活かしたいと思います。

・この度、NOPAオフィス設計基礎講座を4日間にわたり受講させていただき、誠にありがとうございました。前職で商業施設の店舗内装設計施工を経験していたため、オフィス設計の分野については知識が乏しい状態からのスタートでしたが、本講座では基礎を大変丁寧に、体系的にご講義いただき、深い理解を得ることができました。特に、オフィス設計の本質に対する認識が大きく変わりました。それは、単に効率的な「空間」を作るのではなく、「働きやすい環境」をデザインし提案することであり、その空間で働く人々がオフィスを介して外部の世界とつながり、影響を与え合う「循環」であるということです。この循環の視点を持つことで、オフィスという場所が、単なる企業活動の場を超え、社会問題の解決に直結していることを痛感しました。CO2排出量削減といった環境問題への対応から、子育てや介護を両立する世代への支援まで、設計の工夫一つ一つが社会全体に波及していくことを実感しました。「会社」という漢字を逆にすると「社会」になるという言葉のように、オフィスと社会はまさしく表裏一体です。この度の学びを通じて、オフィス設計が持つ社会的使命の大きさを再認識し、今後この知識を活かし、より良い社会の実現に貢献できるような設計提案を目指してまいります。

・今回の研修とオフィス見学を通じて、オフィス設計という仕事の意義と、働き方の未来について深く考察することができました。オフィスの歴史から社会課題まで視座を高く捉え、企業が真に目指すべき未来を構想することの重要性を学びました。これは、一人の力では社会を変えられなくても、「働き方のアップデート」という側面から間接的に貢献するという自身の役割を強く再認識させてくれました。LIONやネットワンシステムズのオフィス見学では、大規模な投資を行いながらも出社率を問わないという、社員への深い信頼に基づいた企業の姿勢に驚かされました。特に、親子ルームやフットサルコートといった「日常と非日常を行き来する」選択肢の提供は、社員の満足度とエンゲージメントを高める現代的なアプローチだと感じました。また、チームディスカッションでは、他社の働き方や、業務に関する課題を共有できる新たな仲間との繋がりを得ることができました。今後、自分の業務の中で、世の中を少しでも良い方向に変えようと努力している企業に対し、働き方のアップデートや従業員のモチベーションを高める空間づくりといった側面から、間接的に貢献していきたいと強く実感しました。今後、変化し続ける社会において、「持続可能で満足度の高い働き方」を実現するため、日々の仕事の中で常に考え続けたいと思います。今回学んだ研修内容を周囲に積極的に共有し、議論を重ねながら、企業の従業員が誇りを持てるようなオフィスづくりに貢献していきたいと決意を新たにしました。

・オフィスに関する知識を様々な角度から学べてよかった。はじめオフィス基礎講座と聞いて、寸法の考え方や内装に関するルール、什器の選び方などのオフィスづくりに関する決まり事を学ぶのだと思っていた。しかし、実際講義が始まると、オフィスのあり方やオフィスづくりの考え方、歴史、法律、経済状況など、様々な視点からオフィスをとらえ、オフィスづくりについて考える内容で、視野が広がったように思う。普段は什器に関する業務がメインのため、内装に関する話や、設計に関する話を基礎的なことから学ぶことができたのも良かった。特に社会的な視座でのデザインの講義は、これまで一度も考えたことのなかったような内容で、とても面白く参考になった。講義の内容も、社会的視座でのデザインの考え方について聞いた後に、実際にオフィスデザインに落とし込まれた事例を見ることができ、**2** ずっと入ってきやすかった。